

## 平成 28 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における矢田西中学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成 28 年 4 月から 7 月末までの期間に、2 年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にさせていただきたいと思います。

### 1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- （１）子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- （２）各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- （３）各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### 2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第 2 学年、中等教育学校第 2 学年、特別支援学校中学部第 2 学年の原則として全生徒
- ・矢田西中学校では、2 年生 50 名

### 3 調査内容

- ・生徒に対する調査
- ア 実技に関する調査（以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）  
中学校調査では、以下の種目を実施する。  
〔8 種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ（※持久走か 20m シャトルランのどちらかを選択）
- イ 質問紙調査  
運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「生徒質問紙調査」という。）を実施する。

# 平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立矢田西中学校

生徒数

50

## 平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	28.92	30.29	47.79	51.17	385.00		8.04	166.79	18.52	41.05
大阪市	29.29	27.51	40.96	51.76	411.55	83.43	8.09	191.49	20.42	41.25
全国	28.91	27.46	43.06	51.93	391.72	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
女子	22.33	23.50	47.17	47.63	279.50	69.43	8.59	155.63	14.67	50.96
大阪市	24.15	23.41	44.39	46.77	303.34	57.97	8.92	167.47	12.97	49.20
全国	23.75	23.48	45.46	46.60	288.51	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56

## 結果の概要

男子は合計点で全国には及ばないものの大阪府平均を上回った。上体起こし、長座体前屈、持久走は全国を上回り、筋力・持久力・柔軟性に一定の優位性がみられる。一方で、立ち幅跳びとハンドボール投げは府平均を下回り、瞬発力に課題がある。粘り強さがあるが、タイミングよく力を出すことが苦手といえる。

女子は今年度も合計点でも全国を上回った。長座体前屈、反復横跳び、持久走、50m走、ハンドボール投げが全国を上回り、昨年度課題だった柔軟性の運動も改善された。一方、握力と立ち幅跳びが大阪府平均を下回った。

男女ともに立ち幅跳びの記録が低く、瞬発力を身につけさせることが必要である。

## これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

女子はここ数年ずっと全国平均を上回り、着実に体力・運動能力の向上が図られている。

男子も今年度は長座体前屈や上体起こしは全国平均を大きく上回り、多くの種目で府平均を超えた。

また男女とも、総合評価でD・Eの割合が全国よりも少なく、運動が苦手な生徒の体力・運動能力も上がってきている。

質問紙調査からみると、運動や健康に対する関心・意欲は高く、保健体育の授業や体育的行事にもしっかり取り組んでいることがわかる。これまでの取り組みが一步一步確実に成果としてあらわれている。

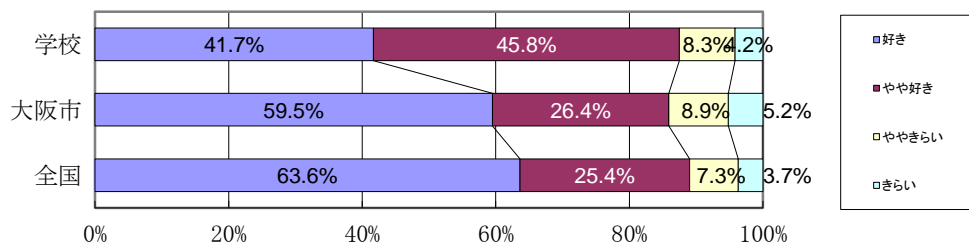
今後も、運動の奨励、体育大会や球技大会・駅伝大会等の体育的行事、保健体育の授業で基礎的な体力・運動能力の向上を図る工夫、部活動の活性化に取り組むとともに、学校の課題として捉えている朝食の重要性や基本的生活習慣の確立に向けて引き続いて取り組んでいく。

# 運動やスポーツについて（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

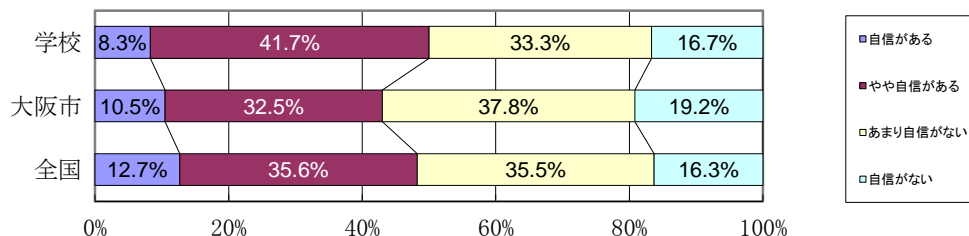
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



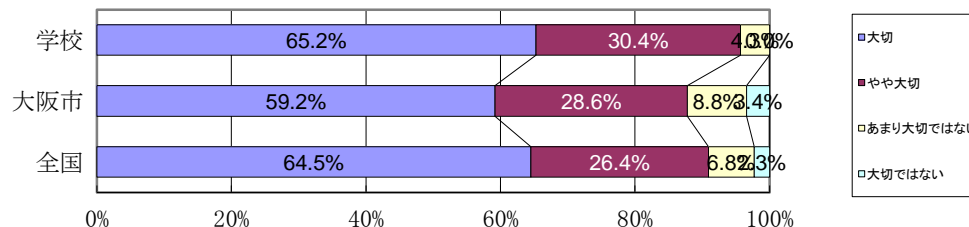
2

自分の体力に自信がありますか



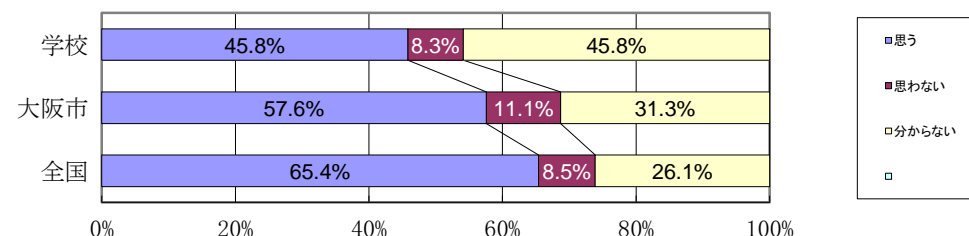
3

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



4

中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか



## 成果と課題

これまでの取り組みの成果として、全体的に運動やスポーツに対する関心・意欲は高く、体力にも自信があるようである。

卒業後もすすんで運動をしたいと回答する生徒が少ない理由としては、この学年の男子は運動部や地域のスポーツクラブに在籍する生徒の割合が比較的少ない（文化部所属の割合がやや多い）ことが考えられる。

## 今後の取組

引き続き、運動の大切さを理解させ、基礎的な体力を身につけさせる取り組みを継続するとともに、小学校とも連携して、運動やスポーツの楽しさを経験させる取り組みを数多く取り入れていく。

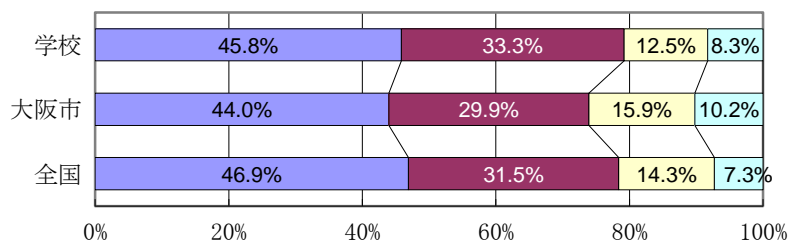
# 運動やスポーツについて（女子）

質問  
番号

質問事項

1

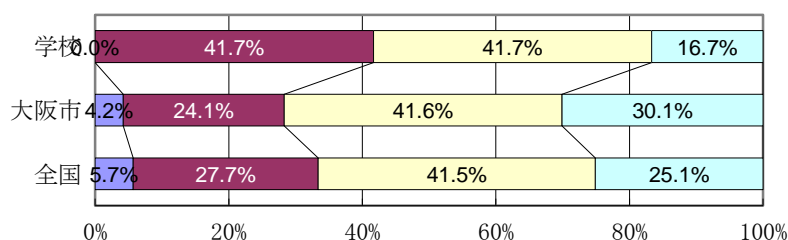
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



□ 好き  
■ やや好き  
□ ややきらい  
□ きらい

2

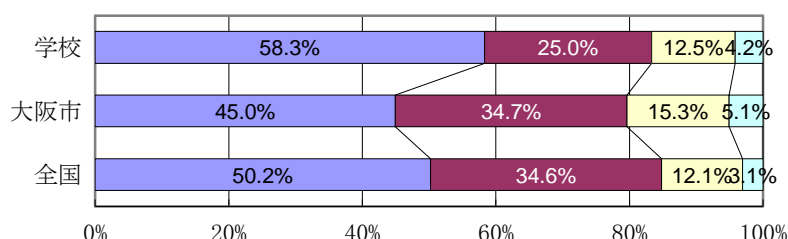
自分の体力に自信がありますか



□ 自信がある  
■ やや自信がある  
□ あまり自信がない  
□ 自信がない

3

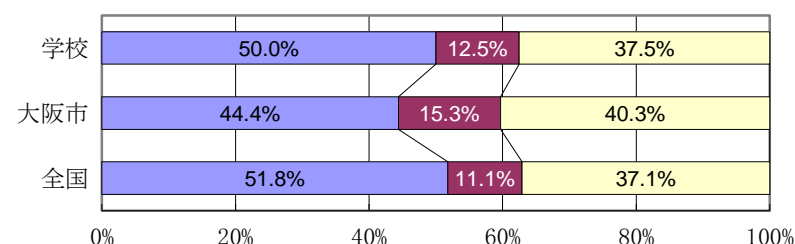
あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切です



□ 大切  
■ やや大切  
□ あまり大切ではない  
□ 大切ではない

4

中学校を卒業した後、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



□ 思う  
■ 思わない  
□ 分からない  
□

## 成果と課題

運動やスポーツに対する関心や意欲は非常に高く、体力にも自信を持っており、これまでの取り組みの成果があらわれている。

この学年の女子は運動部や地域のスポーツクラブに所属している生徒の割合も多く、スポーツが好きで前向きに取り組む姿勢みられる。

## 今後の取組

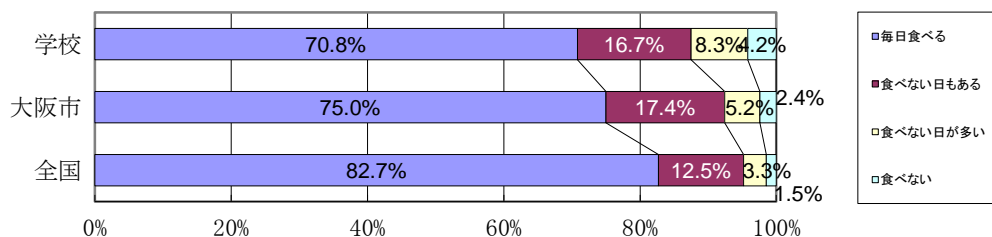
引き続き、運動の大切さを理解させ、基礎的な体力を身につけさせる取り組みを継続するとともに、小学校とも連携して、運動やスポーツの楽しさを体験させる取り組みを数多く取り入れていく。

## ふだんの生活について（男子）

### 質問 番号 質問事項

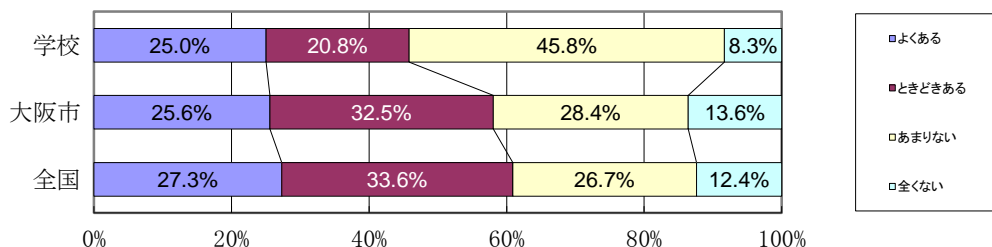
6

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



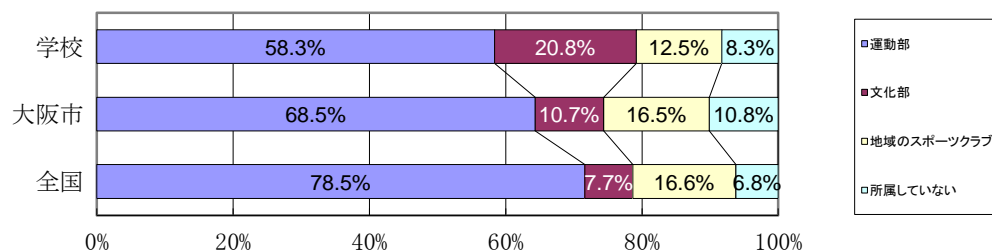
12

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことを勧められることがありますか



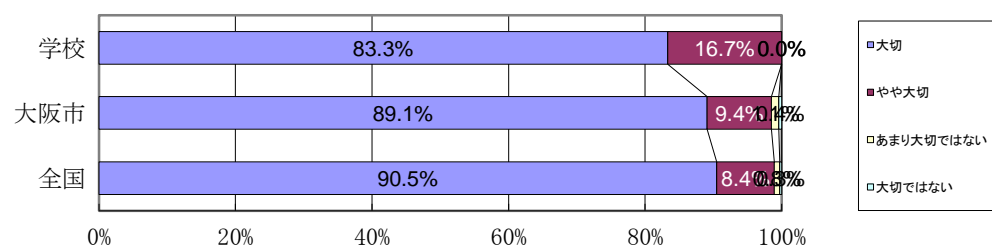
10

学校の運動部や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるもの全て選んでください。



14

あなたが健康であるために食事をしっかり取ることはどのくらい大切だと考えていますか。



### 成果と課題

食育について取り組んでいるが、男女ともに朝食については課題である。  
また、テレビ・携帯・ゲームの使用時間や睡眠時間といった生活習慣にも課題がみられ、男子ほうが顕著である。  
運動に対する家庭からの働きかけも弱く、家庭と連携した取り組みの必要性を感じる。

### 今後の取組

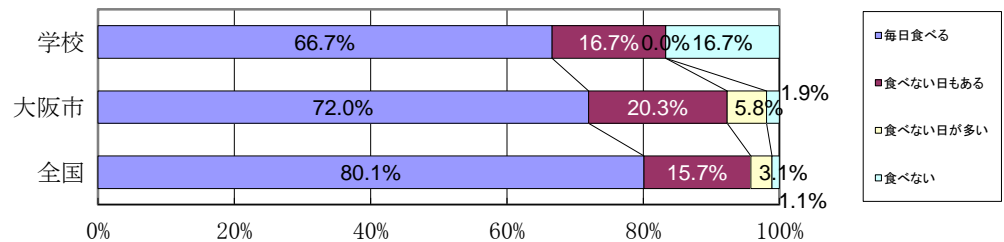
基本的な生活習慣を確立させるため、引き続き食育や生活指導の取り組みを強化するとともに、家庭への啓発、スマートフォン(SNSやインターネット)の使い方の改善を図る取り組みを、一層推進していく。

## ふだんの生活について（女子）

### 質問 番号 質問事項

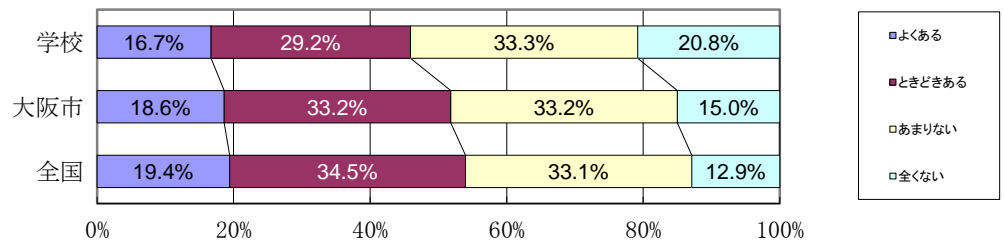
6

朝食は毎日食べますか  
(学校が休みの日も含める)



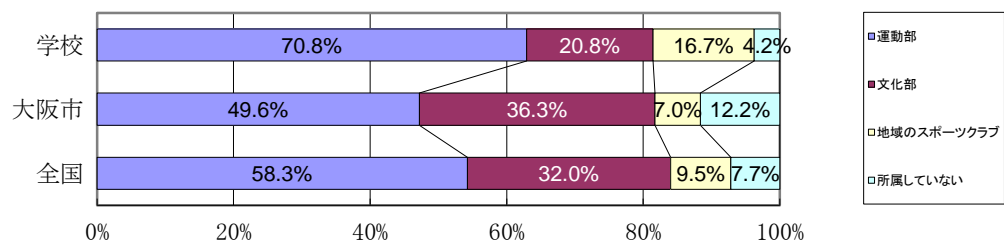
12

家の人から運動やスポーツ  
を積極的に行うことを勧められ  
ることがありますか



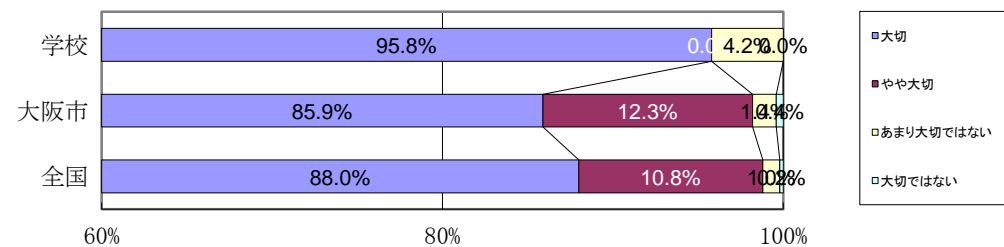
10

学校の運動部や地域のスポーツ  
クラブに所属していますか。当て  
はまるもの全て選んでください。



14

あなたが健康であるために  
食事をしっかり取ることはど  
のくらい大切だと考えてい  
ますか。



### 成果と課題

食育について取り組んでいるが、女子では大切と感じている生徒が多い反面、あまり大切でないと答える生徒も多く、二極化の傾向にある。

また、テレビ・携帯・ゲームの使用時間や睡眠時間といった生活習慣にも課題がみられ、男子ほうが顕著である。運動に対する家庭からの働きかけも弱く、家庭と連携した取り組みの必要性を感じる。

### 今後の取組

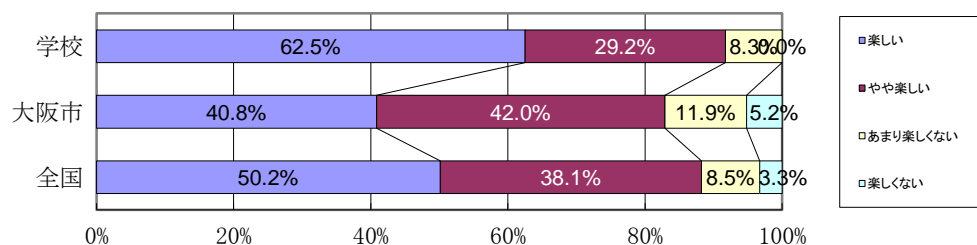
男子と同様に、基本的な生活習慣を確立させるため、引き続き食育や生活指導の取り組みを強化するとともに、家庭への啓発、スマートフォン(SNSやインターネット)の使い方の改善を図る取り組みを、一層推進していく。

## 保健体育の授業について（男子）

質問  
番号 質問事項

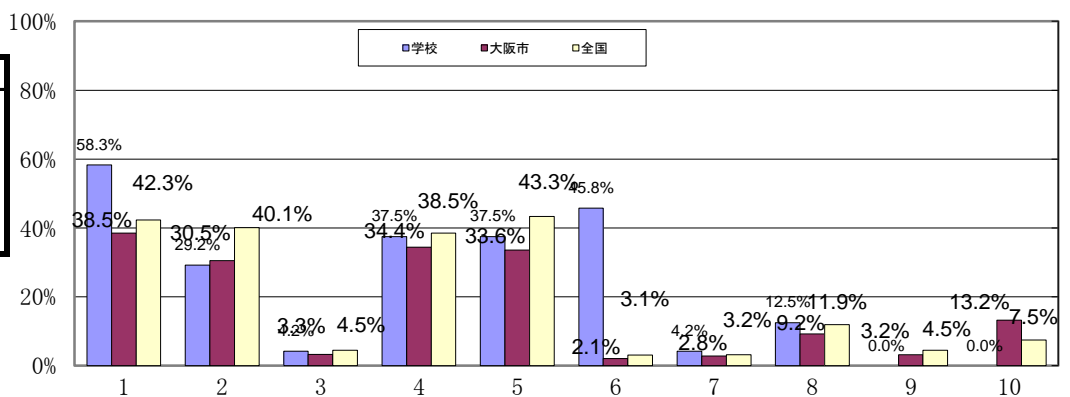
16

保健体育の授業は楽しい  
ですか



21

これまでの体育の授業で  
「できなかったことができる  
ようになった」きっかけ、理  
由はどのようなものがありま  
したか

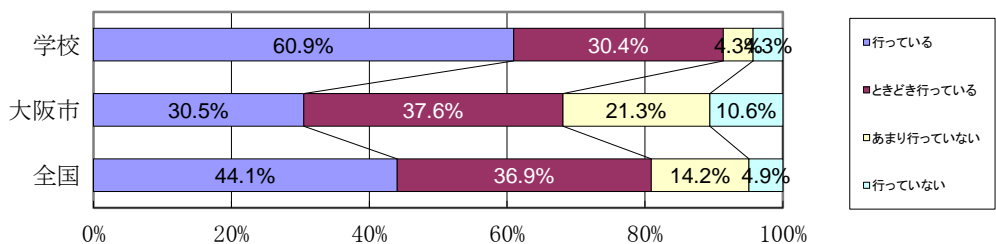


- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

- 2 授業中自分で工夫した
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 8 授業外で自分で練習した
- 10 できるようになったことがない

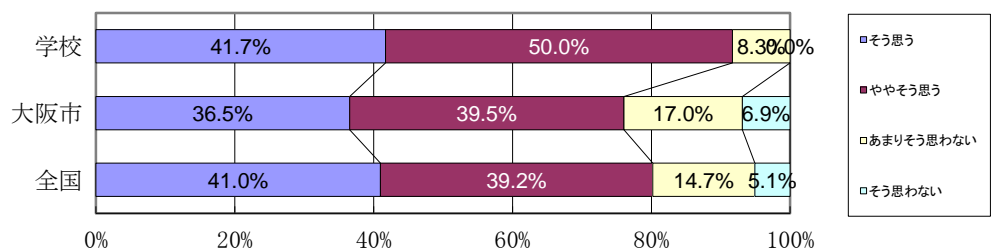
20

ふだんの保健体育の授業  
では、友達同士やチームの  
中で話し合う活動を行って  
いますか。



23

今、体育の授業で学習して  
いる内容は、あなたの将来  
に役に立つと思いますか。



### 成果と課題

保健体育の授業は楽しい、将来役に立つと回答する生徒が多く、保健体育の授業に前向きに取り組んでいる様子がうかがえる。

特に授業の中で話し合う活動、タブレットを使って動きを確認する活動やグループで動きを指摘し合う活動などを取り入れていることが、そのような成果をもたらしている要因にもなっている。

### 今後の取組

引き続き、運動の大切さや楽しさを伝えるだけでなく、運動が得意・不得意にかかわらず、自分なりの目標を設定し、それをクリアする達成感を味わわせる保健体育の授業のあり方を追求する。

さらにICT機器を活用しながら主体的・協同的に学ぶ方法を取り入れていく。

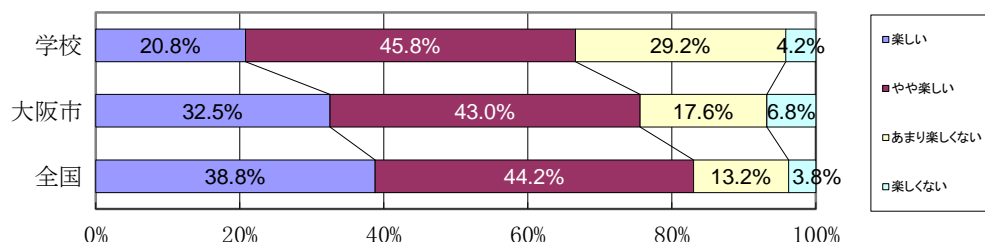


# 保健体育の授業について（女子）

質問  
番号 質問事項

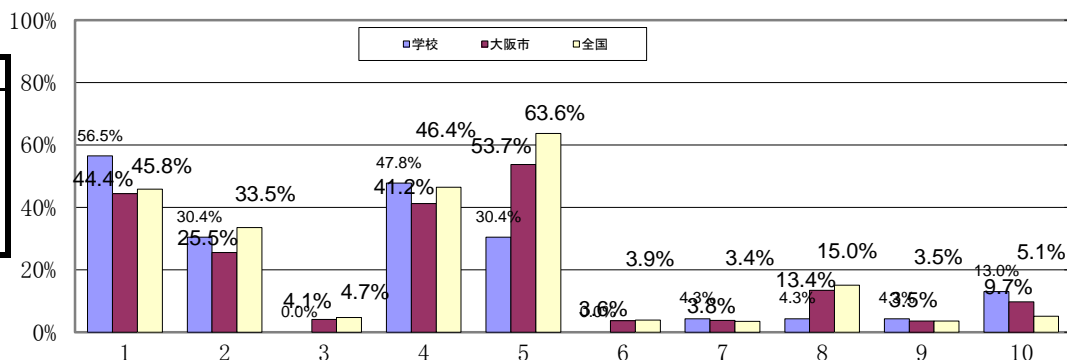
16

保健体育の授業は楽しい  
ですか



21

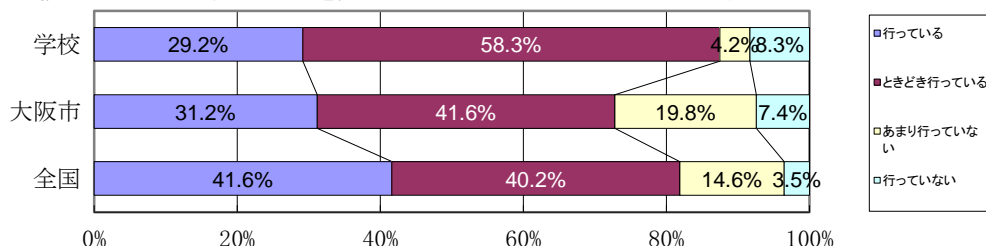
これまでの体育の授業で  
「できなかったことができる  
ようになった」きっかけ、理  
由はどのようなものがありま  
したか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

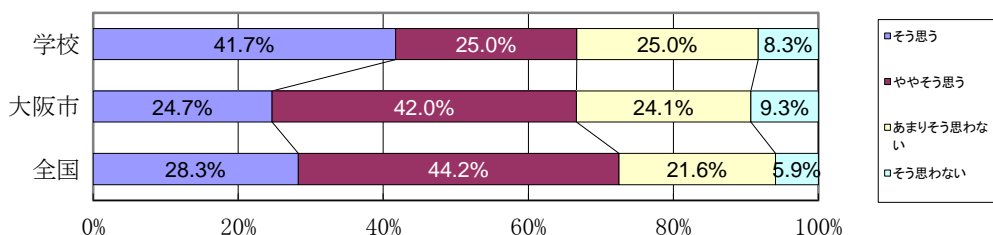
20

ふだんの保健体育の授業  
では、友達同士やチームの  
中で話し合う活動を行って  
いますか。



23

今、体育の授業で学習して  
いる内容は、あなたの将来  
に役に立つと思いますか。



## 成果と課題

保健体育の授業は楽しいと回答する生徒の割合が男子と比較すると少ないが、話し合う活動がある、コツを友達に教えてもらったと回答する生徒が多い。

これまでグループ活動や振り返りの活動を取り入れ、運動の大切さや楽しさを伝える取り組みを行ってきた一定の成果が見られる。

## 今後の取組

引き続き、運動の大切さや楽しさを伝えるだけでなく、運動が得意・不得意にかかわらず、自分なりの目標を設定し、それをクリアする達成感を味わわせる保健体育の授業のあり方を追求する。

さらにICT機器を活用しながら主体的・協同的に学ぶ方法を取り入れていく。



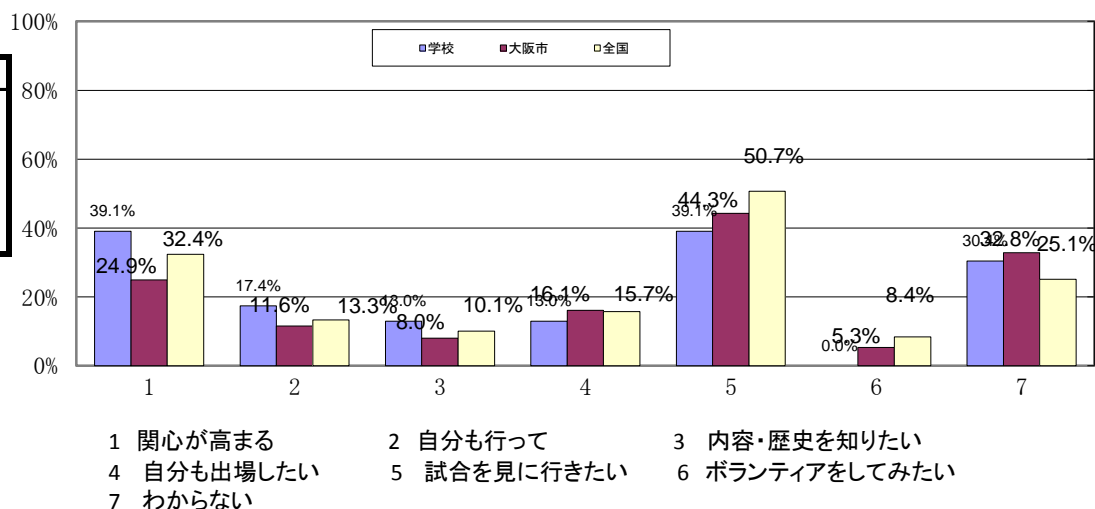
## その他（男子）

質問  
番号

質問事項

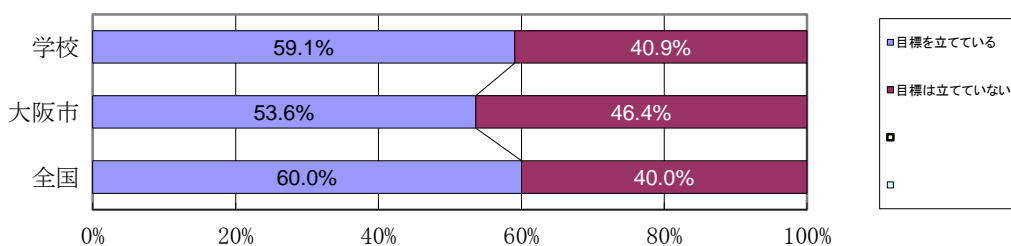
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



27

体力テストの結果や体力の向上について、自分なりの目標を立てていますか



### 成果と課題

自尊感情については、女子と比較すると課題がみられる。

しかしオリンピック・パラリンピックに関心もあり、放課後や休みの日に友達とよく、投げる運動をはじめとした遊びをしていて、スポーツへの関心があり、体を動かすことが嫌いではないことがわかる。

### 今後の取組

保健体育の授業だけでなく、他の教科の学習や行事等で達成感を得ることができるように取り組むとともに、小学校や地域との連携で運動やスポーツの楽しさを体験できる取り組みを進めていく。

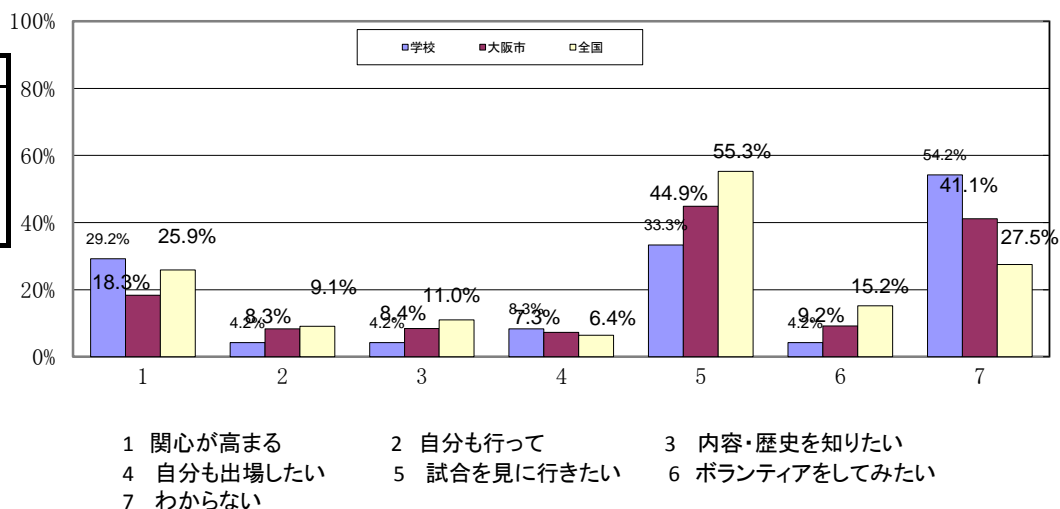
## その他（女子）

質問  
番号

質問事項

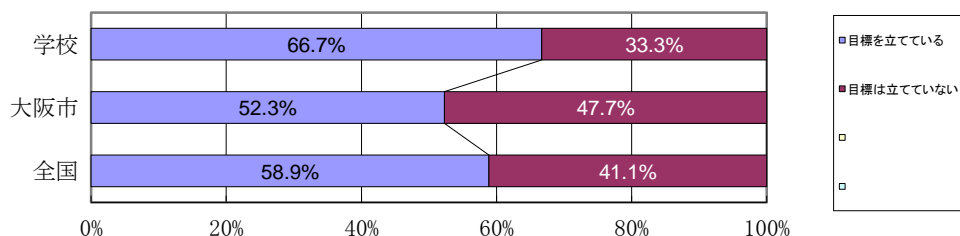
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



27

体力テストの結果や体力の向上について、自分なりの目標を立てていますか



### 成果と課題

女子は学校の中で、何事も前向きに取り組み、達成感を得て、自尊感情が高いことがわかる。スポーツ全般に関心も高いが、一方で部活動や地域のスポーツクラブ以外ではあまり体を動かしていない。

### 今後の取組

引き続き、校内の活動において達成感を得ることができるように取り組むとともに、小学校や地域との連携で運動やスポーツの楽しさを体験できる取り組みを進めていく。